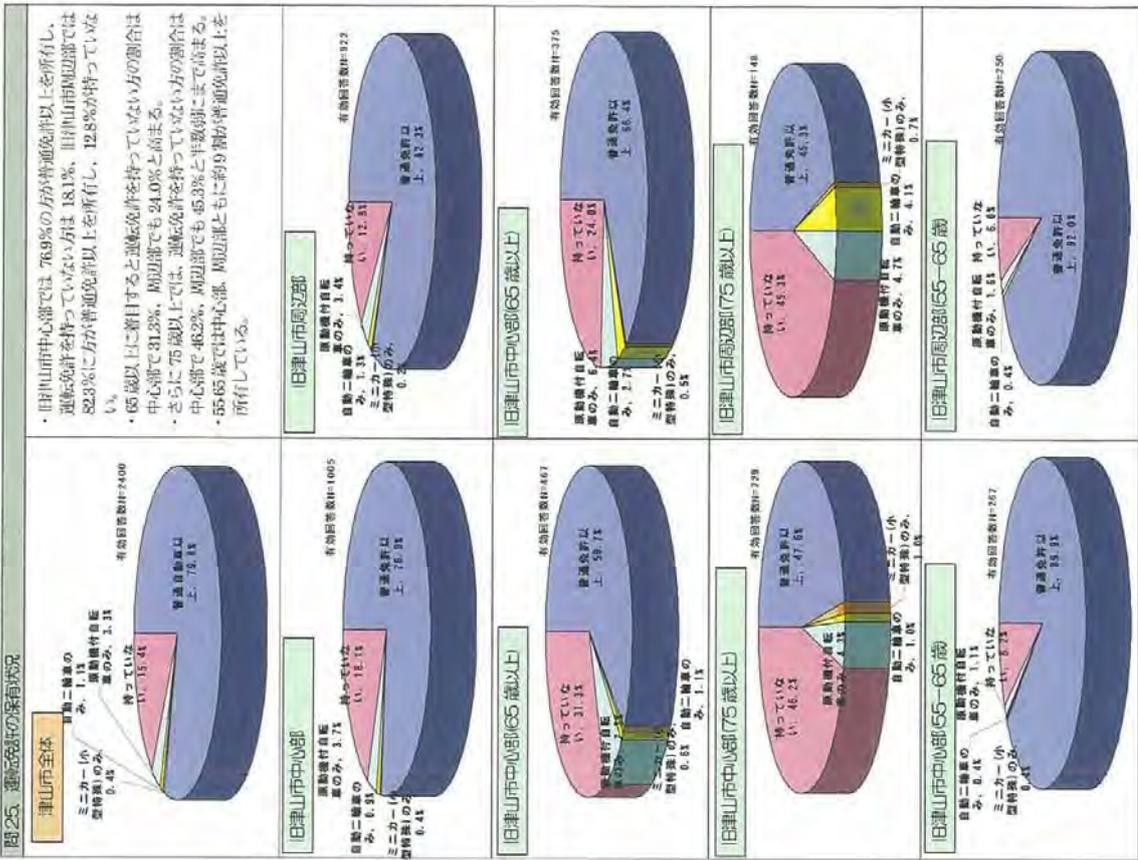


津山市公共交通総合連携計画 第2回分科会 旧津山市分会 資料

1. 前回に出された意見と対応施策の考え方

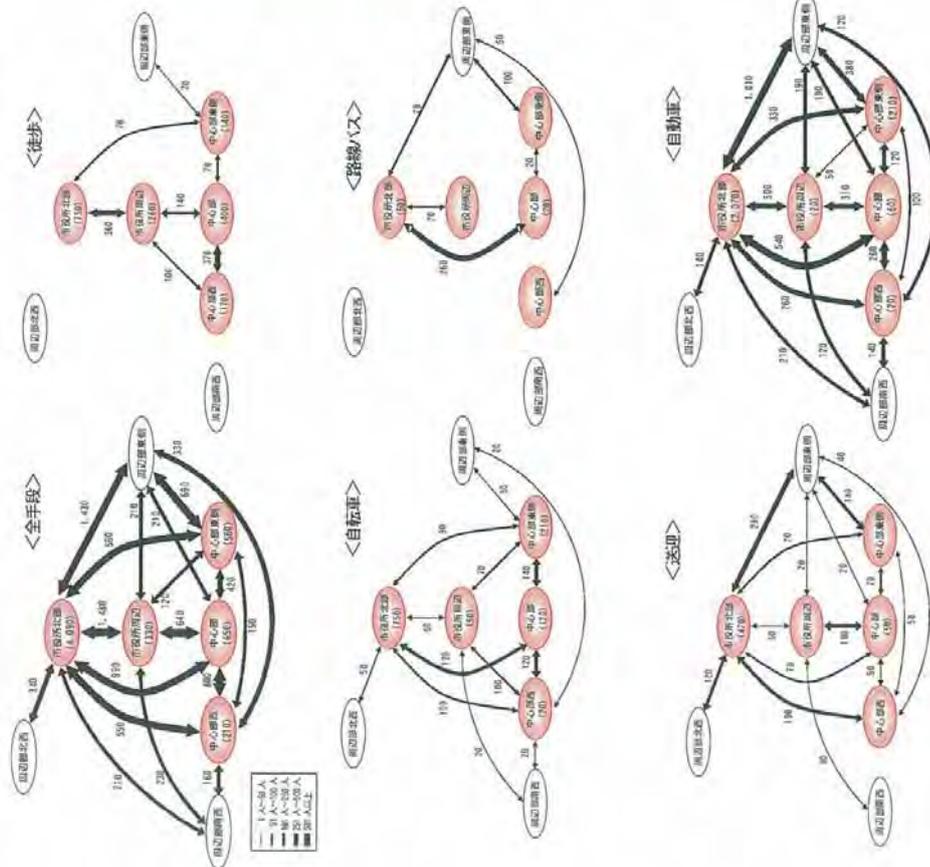
主な意見	対応施策の考え方や分科会での回答もききお
<ul style="list-style-type: none"> <li>旧津山市以外で無料の福祉バスがあるが、乗り物が無料というのをおいかなものか、有料化が好ましくない。</li> <li>バス停まで行けず、タクシー代は前回の病院への回数を減らしているという証を聞く。</li> <li>旧津山市では合併しても何も長くなっていない、不公平は改善すべき。</li> <li>現状の補助額を維持できるのか。</li> <li>できる範囲で財政的に無理がない範囲で計画を進めてもらいたい。</li> <li>これ以上、負担が増えない範囲で。</li> <li>旧津山市中心部北下の地域で、道が狭い、バス路線も道幅の広い外側を走るようになったがこれに件利用者が減少した。</li> <li>循環コースは逆に教いところを走っておりある程度の利用者が確保されている。</li> <li>バス路線を見直す時期に来ていると考えている。</li> <li>循環コースごとに利用者が多いか確認してもらいたい。</li> <li>バスの最終駅がすぎず。</li> <li>中心部では買物に行くところが少ないため外側のスーパーへ出がけしている。</li> <li>街も活気化しないといけない。</li> <li>バスサボーター問題は地域の特徴を踏まえた制度としてもらいたい。</li> <li>80歳以上の方は免許を返納しているの、出て行きたいときに困る状況</li> <li>定額路線でやっていけないところは限られてくる。ディマンド方式は他に人って一緒に考えてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧津市の分会では、有料化に一定の理解を回している。早急に対応していきたい。</li> <li>現在の補助額を維持していくことも強しと考えている。削減されても何か利便性を確保し、公共交通を維持できるように考えていきたい。</li> <li>北郊外の旧町や常庄新築の見直しを事業者と相談しながら考えていきたい。</li> <li>できるだけ遅くまで運行していきたいが、利用者が少ないのも現実</li> <li>中心部街地の活性化にも取り組んでいる。</li> <li>アルネ周辺にバス停を設置できないか検討をしている。</li> <li>制度設計を行い、実行するとなれば質問者募集を考えた。</li> <li>旧津山市でも今のままでは問題があると認識している。ディマンド方式も検討していきたい。</li> </ul>

2. 前回資料からの追加、修正資料  
(1) 運転免許保有状況アンケート調査に基づく



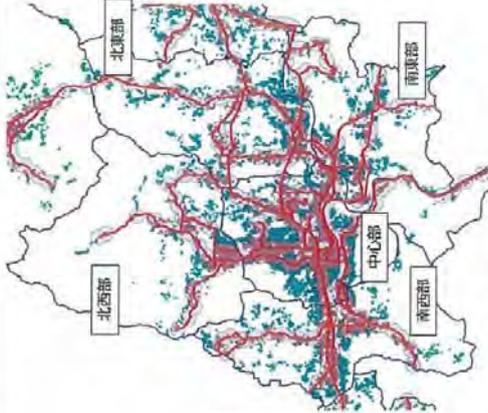
(2) 中心部居住者の交通手段別流動 (アンケート調査に基づく)

・旧津山は中心部から西側の地域が多く、逆に路線バスでは東側の流動が見られる。これは路線ごとバスが中心部よりも東側のルートで西側のバス路線のサービスが低いことが原因的に現れているものと考えられる。  
 ・但し全手段をみて東側には施設の数が多いことから中心部より東側での結びつきが多傾向となっている。



(3) 旧津山市の高齢者分布とバス勢力圏

・旧津山市に1日65歳以上の村中心部が10804人で最も多く、バス停勢力圏人口も8761人で最も多い。しかしバス停勢力圏外の方は、2043人、18.9%で最も多くなっている。  
 ・中心部を除いた地域では、東側のほうが圧倒的によりバス停より300m以上の勢力圏外に発生している割合が多い。



▲ 65歳以上人口とバス勢力圏

▼ 65歳以上人口とバス勢力圏

旧津山市	65歳以上 常住人口 (人)		バス停勢力圏人口 (バス停より300m以内)		バス停勢力圏外人口	
	人口(U)	比率(%)	人口(U)	比率(%)	人口(U)	比率(%)
中心部	10,804	81.1	2,043	18.9		
北東部	2,725	1.589	56.3	41.7		
南東部	2,141	1.034	46.3	51.7		
北西部	1,336	80.5	60.2	39.5		
南西部	3,036	1.873	60.7	39.3		
合計	20,106	14.053	70.0	6.038	30.0	

バス停勢力圏: バス停より半径300m以内

3. ネットワーク整備の考え方

○ 需要構造の変化

公営交通ネットワークの整備を考える上で、今後の公共交通利用者となりうる年齢層、特に65歳以上の方々かどのよつに变化するのをおぼやかしする。なお本計画のプランを約10年後の平成32年(西暦2020年)と想定する。

1) 高齢者数

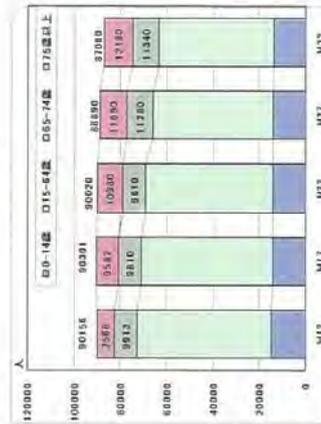
・旧津山市では人口減少に伴い、少子高齢化が進む中で、高齢者数自体は増加を続けるものと考えられる。  
 ・その中でも75歳以上の人口が65-74歳の人口を上回るものと考えられる。

2) 免許保有率

・アンケート調査では現在の55-65歳平成32年で65歳以上の方々は約9割が何らかの運転免許を所有しているが、免許返納が進む75歳以上の方が増加することから、今後、旧津山市においても他地域と比較しても公共交通を必要とする方の人口は増加していると考えられる。

3) その他考慮すべき事項

・高齢者の交通手段の観点から免許返納制が定められているが、制度の今後の普及状況を見守る必要がある。



日調方法  
旧津山市のデータがある平成12年の国勢調査をもとに、5歳階級ごとの増減率、元じ平均がて予測  
平成32年(西暦)の推定人口を示す

▲ 旧津山市の将来人口

○旧津山市地域のバス網再編とサービスの考え方

- 1) バス網再編の考え方(検討対象)
- ・旧津山市では旧津山からの委託運行となる循環ごんごバス、支所間ごんごバスと中鉄 北部バス、中鉄製作バスが運行している。このうち中鉄北部バス、中鉄製作バスはそれぞれの事業者が企業活動として運行していることから、原則として事業者への委託とし、その運行については事業者の判断とする。
  - ・即ちここでは委託運行となっている循環ごんごバス、支所間ごんごバスを中心に提案を行うものとする。
  - ・ただし院注部路線は、久米地域等からの乗り継ぎを考えると、定額運賃が望まれ、運行ダイヤも委託運行路線と多少の差を受けなければならないことから、その運行を確実に維持し、事業者も安心して運行できるよう他のごんごバス路線と委託運行化を図ることが必要と考えられる。

- 2) サービス水準の考え方
- ・これまでの検討を踏まえ、旧津山市でのサービス水準を以下のように考える。

- ・朝夕の通学(8時前後に学校着)、中心部の病院へ通院(8時半～11時の受付)に対するバスの便を確保する。  
(旧津山バス路線で既に確保している)
- ・旧津山からの乗り継ぎ拠点である東側のイオン津山、津山中央病院等と西側のマルナカ院庄店、津山第一病院等と中心部の拠点である津山バスセンターとの連絡を委託運行で確保する。
- ・バスの空白地域(バス停外周部)の地域に対して積極的にその解消に取り組み、但し道路が狭く又は人口密度が低く、バスが運行できない地域等では、道路整備状況等を踏まえバス路線や乗合タクシー、ディマンドタクシーの導入を交通事業者に呼びかけていく。

○サービス水準の展開

- 運行本数・ダイヤ
- ・循環ごんごバスについては、利用者の減少傾向を踏まえ、路線の見直し、あわせて低床グループバスの導入を検討する。
  - ・院注部路線はごんご久米線からの乗り継ぎに合わせた運行ダイヤとする
  - ・概ね旧津山地区(津山以北)では、朝夕の通学・通院を除き需要を見極め、昼間の減便またはディマンド方式への転換も検討される。
  - ・交通事業者の路線バスは、補助運賃を確保を前提に津山BCで系統を切り、津山までの回送運行がある場合は、別系統として少しでも利用の見込まれる地域を広く運行できるようにする(区道事業者と要相談)。

【乗り継ぎ】

- ・津山中央病院、イオン津山、東行山駅、津山駅、アルネ、マルナカ院庄店、津山第一病院を乗り継ぎ拠点とし、その整備および情報提供の充実を図る。

【運賃】

- ・現状の運賃を維持できるように取り組んでいく(循環ごんご、支所間ごんごバス)。
- ・循環ごんごバスと支所間ごんごバスの乗り継ぎ割引引きとなる1日フリー乗車券500円のPRを行う

○地域へのインセンティブ(案)

- ・循環ごんご、支所間ごんごバスでは、利用者がより一定の運賃収入が確保され、補助額が一定の基準を下回った場合は、それを超えない範囲で路線の延伸、増便、運賃値下げ等を図る(伊波部岡と要相談)。
- 一定基準の例 地域での公共交通に限る補助額が合併時を下回る  
全市平均の〇割以上程度まで減少 等

○事業者へのインセンティブ(案)

- ・事業者のコスト削減に対する取り組みに対して、事業者がインセンティブを得られるよう検討を行う。

4. 旧津山市地域の公共交通体系の整備方針

(1) 幹線と支線を明確にし、効率的運行体系の構築

- ・岡田市町を結ぶ鉄道やバス路線、及び循環ごんごバス、院注部路線を幹線と位置づける。支線として旧津山市で完結する路線を位置づける。
- ・バスセンターと旧津山のつちと回送運行を活用し空白地域を改善する。
- ・院注部路線は、西の循環ごんごバスと位置づけ、運営方法も循環ごんごバスと同じとする。
- ・ただし半年～1年程度の期間で目標利用者に満たない場合は、すぐに廃止し他の路線に切り替え効率的性を重視する。
- ・現在、路線バスにより運行されている地域においても、利用者の増加が見込まれずそのまま維持することが困難と判断された場合、車両の小型化(リビン>ジャンボタクシー)、ディマンド方式等への転換を図る。
- ・中心市街地の活性化と空白地域の改善を目指した中心市街地の中を連絡する地域内循環を公設民営で運行。
- ・訪問田地区への代替運行について状況により循環線等への検討を行う。

(2) 網合路線、混在運賃の是正

- ・朝山通りに集中するバス路線を可能な範囲で分散させる。

(3) 抵抗の少ない乗り継ぎの工夫

- ・旧津山市地域での結節点となる津山駅、イオン津山店や津山中央病院、第一病院等では待ち時間の調整等による待合の確保、改善を図るとともに乗り継ぎ情報の提供を行う。
- ・ごんご旧津山市駅と地域内バス路線との乗り継ぎ施設の検討を行う。
- ・市中心部周辺の乗降拠点においても、支所間ごんごバスと中心部連絡バス等との待ち時間の調整、情報提供等を行う。
- ・市後のバスマップや案内板等の整備を行い、利便性の向上を図る。

(4) 住民と協働する公共交通体系の維持

- ・公共交通の利用促進やマナーの啓発活動を住民とともに行う。
- ・利用者により一定の運賃収入が確保された場合は、地域へのインセンティブ(補助)を行い、利用者確保の持続を図る。
- ・バス各の維持活動、管理等について住民の協力を得る。

(5) PCA サイクルに基づく計画のスパイラルアップ

- 【ed】
- ・上記の整備方針を具現化する。
- 【check】
- ・バスモニター制を導入し定期的にバスサービスの状況把握を行う。
  - ・各運賃収入額と利用者アンケートを長編し、その満足度や意見を伺う。
- 【action】
- ・行政、事業者、住民(バスモニター等)と対峙して改善施策の立案と実施を行う。



津山市公共交通総合連携計画 第2回分科会 旧津山市分会 資料

5. 施策のスケジュール (案)

施策	H22		H23		H24	
	4-9月	10-3月	4-9月	10-3月	4-9月	10-3月
ごんご加茂線折返し運行		↑ 中学校区前・イオン・山形留所発着	↑ バス停整備後折返し運行開始			
ごんご勝北線折返し運行						
ごんご久米線折返し運行		↑ 第一駅停留所整備	↑ 久米交差点での車庫・バス停留所整備			
循環ごんごの見直し						
旧津山市中心部でのバス線再編				↑ 小幡駅前、西側停留所等の運行再編		
情報提供の充実		↑ 運行状況等の変更 ごんご即時発信				
バスサポート制	制度設計		↑ ○ 完成評価・見直し		○ 完成評価・見直し	
	募集・実施					
インセンティブ	評価	○	○	○	○	○
	実施					
計画の評価・見直し	評価					
	改善		↑ 評価方法検討			↑ 改善案の検討

## IV-2. 分科会分会協議内容

### 1. 第1回分科会分会

第1回分科会分会		
	主な意見	対応方針
阿波	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併後、様々な住民サービスが低下した感がある。福祉の後退は避けてほしい。過疎債などの上乗せがあるのでは？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これ以上、サービスが後退しないように本計画の策定に着手したところである。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスとJR因美線の連携を図りどちらも残すようにしてもらいたい。</li> <li>・旧津山市中心部までバスで行くには時間がかかる。JRのほうがトイレもあって使いやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美作河井駅、美作加茂駅での連絡は維持・向上させたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央病院やイオンでの折り返しは良いのではないかな。ただし津山駅、東津山駅も含め乗り継ぎが便利でなければならない。</li> <li>・いろいろなバスが混在していてわかりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り継ぎも含め情報提供は充実させる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿波地域は無医村で免許返納した高齢者はタクシーかバスしかなく、タクシーは高額でバスが無ければ病院に行けない。福祉的な面も考慮してもらい。特に冬季は積雪があり、深刻。</li> <li>・バス停までもしんどいという高齢者はいる。福祉の観点ならばそのような方には自宅近くまで行く必要があるのではないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎地有償運行、ボランティア有償運行の可能性を検討し、導入を図っていききたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口密度が違うのだから人口の多い旧津山市などと同じ考えでは困る。非効率でも福祉という観点からバスを残してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口の多いところと同じ交通システムでは非効率と考える。過疎地なりの交通システムの提案をしたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉バスも市営阿波バスも無料というのは考え直す必要がある。</li> <li>・合併前まではスクールバスは有料、患者輸送バスも隔日運行。</li> <li>・スクールバスが活用されていない。混乗できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉バスも有料化としたい。</li> <li>・65歳以上は一律無料というのも改善したい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校用の朝一番とその帰りを除けば毎日でも良いのではないかな。</li> <li>・観光と連携すればバス利用が増えるのではないかな。ボンネットバスをパンフに掲載している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂地域と一体的な交通体系を考えていきたい。</li> <li>・その際に隔日運行等も含めた提案をする。</li> <li>・ボンネットバスの維持費用を想定した上で、判断したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスサポーター制は個人的には良いと思う。PRが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度設計を行い、実行となれば賛同者を募りたい。</li> </ul>	
加茂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の男女別運転免許保有率を示してほしい。女性の保有率が低く旧津山市での会合等に行けないという話を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回、再集計し提示する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営阿波バスは高齢者は無料なので加茂地域の方もそれを利用し加茂観光バスを利用してもらえない。</li> <li>・美作加茂駅でのごんごと加茂観光が利用者を取り合っている。</li> <li>・座席に座れないことがある。大きいバスでの運行はできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂、阿波を1つの地域として交通システムの再構築を検討し提案する。</li> <li>・路線の競合、運賃格差の是正を図っていく。</li> <li>・利用があれば車両変更を事業者へ依頼するが、すべての利用者が座席に座れるようにすることは考えられない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津山駅ではどのバスに乗ってよいかわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津山駅に限らず、乗り継ぎ拠点で情報提供は充実させる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央病院やイオンでの折り返しは良いのではないかな。今は旧津山市で迂回が大きく時間がかかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧津山市中心部へはきちんと乗り継げるようにしたい。</li> <li>・JR因美線も活用できるよう地域内の各駅へのバスのアクセスはきちんとしたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉バスは無料に越したことは無いが、存続してほしい。</li> <li>・路線バスの利用促進も考えないといけませんが、受益者負担も考えないといけなくない</li> <li>・有料となると高齢者の引きこもりを助長しないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市財政は厳しく、無料で公共交通を維持することは厳しい。</li> <li>・旧津山市では福祉バスの制度はなく、市域全体の住民サービスの統一も必要と考える。</li> <li>・有料化となれば、既存の路線バスとの区分は無くなる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂地域にあったバスサポーター制を工夫する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度設計を行い、実行となれば賛同者を募りたい。</li> </ul>

第1回分科会分会

	主な意見	対応方針	
勝北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスが通りすぎたことがある。乗客をきちんと確認してもらいたい。</li> <li>・バスの乗降は高齢者に苦痛。多くの便が必要とは思えない。減便や運賃を値上げしてでも乗り継ぎは避けてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者へ注意する。</li> <li>・福祉バスは維持する代わりに、有料化をお願いしたい。</li> <li>・乗り継ぎを少なくした案を提示する。</li> <li>・広く地域を網羅している福祉バスを参考にしたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政サービスにおいて基本的に黒字は考えられない。どうせ赤字ならば、多くの方に利用して頂くことが重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ現在の路線を維持できるよう取り組んでいきたい。</li> <li>・ごんご勝北線と行方線との競合をその機能で分けたい。例えば津山市直通で所要時間の短い行方線、時間はかかり乗り換えは必要だが安いごんご勝北線とか。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんごバスは便利で喜んでいる。存続できるように頑張ってもらいたい。</li> <li>・利用者が少ないと運転手も張り合いがないと思う。利用を増やさなくてはならない。無料で乗ってもらっても収入は増えない。有料で多くの方に乗ってもらえば赤字は小さくなる。</li> <li>・行方線は、国庫補助路線で津山市関連の路線では利用は多い。奈義町から行方線がなくなるとは困るといわれている。ごんご勝北線との競合は避けてもらいたい。国庫補助路線から降格すると補助額も減少し市の負担も増える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津山中央病院、イオン津山を旧津山市中心への乗り継ぎ拠点とする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鏡野町からプラント5にバスを入れて欲しいという要望があった。これを西側の乗り継ぎ拠点と考えると、東側の乗り継ぎ拠点として、イオン津山または津山中央病院がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度設計を行い、実行となれば賛同者を募りたい。</li> <li>・支所に休憩所と車庫を設ける案については、撤回する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスサポータ制は基本的には賛成。</li> <li>・車庫を離れたところにおくと、盗難やいたずらも心配。朝の点呼もきちんとしたい。リスクを考えると朝の回送運行のほうがよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坪井駅、美作追分駅での結節を提案している。</li> <li>・津山BCを拠点と考える以上、これをまたぐ系統は考えられない。乗り継ぎを前提としてもらいたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅からのバスがしっかりしていれば、乗り継ぎも苦にはならない。</li> <li>・イオン津山、津山中央病院へ行きたいという意見がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久米地域ではダイヤモンド方式よりも、以前にタクシーチケット方式を採用していた経緯もあり、これを復活させるほうが有効ではないか。</li> <li>・但し前回と違い、利用可能区間を制限したりバス並みの運賃を頂くという方法が考えられる。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイヤ方式では既存のタクシー事業者へ影響があるのでは。</li> <li>・福祉バスでは病院への通院は可能だが、買物に行けない。これが改善されると利用者は増えると思う。</li> <li>・代替交通システムが確保されれば福祉バスは廃止してもよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の計画で改善していきたい。</li> <li>・本計画ではPDCAサイクルに基づく見直しも提案する予定である。問題があれば順次改善していくことを考えていきたい。</li> </ul>	
久米	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんご久米線は津山工業高校まで行っているが、通学時間帯には運行していない。支所があるので、わざわざ市役所方面まで行く人は少ないのでは。</li> <li>・ごんご久米線は、合併時に検討し合併を円滑に進めるため、欲張った運行ルートになった。今は見直す良い時期と思う。</li> <li>・循環ごんごバスが東回りなのか西回りなのかわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少ない本数で広く回ると地域は限定しながらも便数が多いものとどちらが良いか。便数が少ないと使い難い。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんご久米線を折返し運行するのであれば、別のルートも考えてみては。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神代地区も含め、利用者の少ない地域は福祉バスを廃止し、タクシーチケット方式を復活導入させたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道189号と429号をわたる利用は少ないと思われる。2本の国道を軸として考えればよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR姫新線との競合を避けるため設定していない。</li> <li>・制度設計を行い、実行となれば賛同者を募りたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんごバスには定期はないのか</li> <li>・バスサポータ制は賛成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧町村の分会では、有料化に一定の理解を頂いている。早急に実現していきたい。</li> <li>・現在の補助額を維持していくことも難しいと考えている。削減されても何とか利便性を確保し、公共交通を維持できるように考えていきたい。</li> </ul>	
	旧津山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧津山市以外で無料の福祉バスがあるが、乗り物が無料というのはいかかなものか、有料化が好ましい。</li> <li>・現状の補助額は維持できるのか。</li> <li>・できる範囲で財政的に無理がなく、住民の負担が増えない範囲で計画を進めてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北循環の再開や院庄循環の見直しを事業者と相談しながら考えていきたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧津山市中心部は城下町の名残で道が狭い。バス路線も道幅の広い郊外を走るようになったがこれに伴い利用者が減少した。</li> <li>・循環ごんごは狭い区間を走りある程度の利用者を確保している。</li> <li>・バス路線を見直す時期に来ていると考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅くまで運行したいが、利用者が少ないのも現実。</li> <li>・中心市街地の活性化にも取り組んでいる。</li> <li>・アルネ周辺にバス停が設置できないか検討をしている。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの最終便が早すぎる。</li> <li>・中心部では買物に行くところがないため外側のスーパーへ出かけている。</li> <li>・街も活性化しないといけない。</li> <li>・定時定路線でやっていけるところは限られてくる。ダイヤモンド方式は地元に入って一緒に考えてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧津山市でも今のままでは問題があると認識している。ダイヤモンド方式も検討していきたい。</li> <li>・制度設計を行い、実行となれば賛同者を募りたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスサポータ制は地域の特徴を踏まえた制度に。</li> <li>・80歳以上の方は免許を返納しているので、出て行きたいときに出て行けない状況</li> <li>・定時定路線でやっていけるところは限られてくる。ダイヤモンド方式は地元に入って一緒に考えてもらいたい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧津山市でも今のままでは問題があると認識している。ダイヤモンド方式も検討していきたい。</li> </ul>	

## 2. 第2回分科会分会

第2回分科会分会		
主な意見	対応方針	
阿波	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎債・交付税について回答がないが、どうなったか？</li> <li>・加茂地域と一体として考えるということは、グリーン公社がなくなるということになるが、グリーン公社は阿波地域の唯一の企業で、雇用を確保するという点からも重要。</li> <li>・過疎地有償運送は他地域の事例をみると、単独では採算割れをして赤字を補填してもらっていると聞く。大丈夫か？</li> <li>・隔日運行という提案があるが、積み残しがでるのではないか？今のスクールバスにはつり革はついていない。</li> <li>・過疎地有償運送を加茂地域に広げてはどうか？</li> <li>・ボンネットバスを残してもらいたい。</li> <li>・過疎地有償運送とすると、これまで無料だったものが、いきなりタクシーの1/2となる。市営阿波バスも同様に高額となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定はされており、今後も延長されると聞いている。確かに有利ではあるが、福祉バスと市営阿波バスの赤字を補填するまでには至っていない。</li> <li>・今後、バスを走らせるには運行管理者を設けなくてはならないし、営業用ナンバーを取るには3台の車両を保有しなくてはならない。今のグリーン公社では難しい。</li> <li>・市の外郭団体に対する方針に沿って考えている。</li> <li>・現在の福祉バスと市営阿波バス、スクールバスに投入している金額を考えると効率化されてくると考えている。</li> <li>・ボンネットバスよりはたくさん乗れると考えている。</li> <li>・つり革は付けたい。</li> <li>・管理上、問題があると考えている。まずは阿波地域のみで立ち上げていければ。</li> <li>・ボンネットバスがあることによりどれだけの効果があるのか、強くアピールする数字的なものを地元から示してもらいたい。</li> <li>・暫定運賃を導入することを考えている。</li> <li>・ごんごバスの1日フリー乗車券が500円であることから、往復でも千円が限度と考えている。</li> </ul>
加茂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿波地域との一体的運行となると物見地区を経由し、阿波に上がっていくとなるとダイヤはどうなるのか</li> <li>・無料のバスは廃止すべき。旧津山市等の話を聞くと合併前の旧加茂町は過剰サービスではなかったかと思う。住民の意識の格差が大きい。</li> <li>・バス車内での子供たちのマナーの向上が必要。</li> <li>・ダイヤモンド方式の概要は？</li> <li>・定期的に1人の利用があれば、定時定路線でやるべきではないか？</li> <li>・乗り継ぎ運賃の問題はどう考えるのか？</li> <li>・運賃は心理的な影響もあり、値上げとなると利用者が離れることも考えられる。</li> <li>・合併前に各役場が持っていた白ナンバーのバスはどうなっているのか？</li> <li>・車庫を離れたところにおくと、盗難やいたずらも心配。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝一番で津山中央病院に行くごんご加茂線への連携を考えると、別系統としなければ不可能。昼間は可能性がある。</li> <li>・福祉バスの有料化はお願いしたい。</li> <li>・いきなり有料化を行うか、緩和措置を入れるかは今後、考えていきたい。</li> <li>・マナー向上に向けた啓発活動をしていきたい。</li> <li>・システムを導入したダイヤモンド方式は、初期投資も更新も高い。</li> <li>・ハイヤーと考えれば安くなる。</li> <li>・利用者が1人であれば、別の方法を考えたい。</li> <li>・実証運行でやっていけば良いと考えている。</li> <li>・ごんごバスは安すぎると考えている。</li> <li>・JR因美線との共存を考えるなかで、津山市直通はJRでこのほうが早く、ごんごバスは乗り継ぎがあり時間もかかるということで安くという仕分けをしたい。</li> <li>・全部が有効に使われてはいないと聞いている。バス路線の中で有効に使えないか考えている。</li> <li>・支所に休憩所と車庫を設ける案については、撤回する。</li> </ul>

		第2回科会分会	
		主な意見	対応方針
勝北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんご勝北線はどうなるのか？</li> <li>・増便できるならコースを変えて広く集めることはできないか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉バスとあわせて隔日運行、そのときは田熊へは迂回しない。運行本数は現在の2便から3便としたい。</li> <li>・延伸の距離と短絡の距離はほぼ同じで、1本を入れることは可能。但し行政からの支援は必要。</li> <li>・行方線との競合はさせない。便数が多い方が利便性は高いと考える。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り継ぎ拠点では、横付けのイメージが好ましい。イオンでは今のバス停は見直しが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度にバス停整備を実施したいと考えている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝北支所前のバス停での乗り継ぎは雨や雪のとき不便。できれば支所の中に入れてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せつかくの支所なので活用していきたい。屋根とロータリーが課題と認識している。</li> <li>・他の来庁者の自家用車もあるので今のままでは難しい。詳細な検討が必要。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻表を配ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフは作っている。時刻表は駅等に置いている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスマップを作って欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画が整理できれば情報提供をしていきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者にも経営努力に対するインセンティブが必要ではないか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度がそのように変わろうとしている。市としてはそれに応じていくことを考えている。</li> </ul>	
久米	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今あるものがなくなるということには抵抗がある。地元の意見を聞く機会を設けて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時定路線のサービスとしてはなくなるが、サービスは維持する。</li> <li>・定時定路線では空のバスを走らせることになる。これを避ける対策。</li> <li>・今回は時間的制約があったが、見直しの際には検討したい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事や会議などもバスの時間を考慮した時間とすれば利用は増えるのではないかと。</li> <li>・高齢者同士で誘って1台の車で乗り合わせなどをしていたが、他人を乗せると事故が心配と断られることが多いと聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考にしたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行きは送ってもらえても帰りが困るということもある。</li> <li>・「中央病院」、「津山駅」等をバスに表示して行き先を明確にわかるようにしてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者に要望したい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなバスが走っていてわかりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス路線を単純化することが重要ということで、今回取り組んでいる。バスの色を変えるなどによりわかりやすい工夫をしたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんご久米線の利用が少ない理由は？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迂回が大きいと、他のごんごバスに比べ便数が少ない。今回の見直しで増便が可能となれば、利用も増えると考えている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り継ぎを前提とするのであれば、他のバスや鉄道としっかり連携しなくてはならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅れた場合も考えてゆとりを持たせたダイヤを提案したい。</li> <li>・院庄循環線が受け側になるが、ダイヤ、便数とも見直したい。</li> </ul>	
旧津山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイヤモンド方式とは？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停までとか利用は制限したい。タクシーとは違うものとしてほしい。</li> <li>・ダイヤモンド方式はタクシー事業者であれば初期投資が少なく押さえられると考えられるため、タクシー協会に相談したい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地内のバス網再編を考えるのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ループバスの導入、循環ごんごバス、院庄循環の再編は考えていきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回送運行があることは指摘のとおりで、積極的に効率化に向けて取り組んでいきたい。しかし費用がかかる問題なので事業者への配慮をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の補助制度も活用し、行政としても取り組んでいきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧町村には福祉バスが走っているが、旧津山市には走っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧町村と旧市で格差があるとの指摘を受けた。すぐにやめるわけにはいかないの、当面は有料化の方向でお願いし了承を得ている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスに乗らない方の意見も定期的に聞いてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぜひ協力をお願いしたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブが合併で43地区58名の委員がいる。アンケートなどは用紙を作っていたいただければ対応できる</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複線は子供たちの通学対応のみで昼間は使えないと聞いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は昼間も走らせていたが利用者がほとんどいなかったため間引きした経緯がある。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝北ではごんごバスが走って便利になったと聞く。しかし評判が良ければよいほど、ここにもという要望が出てくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算制約があるため、今の事業を続けることが精一杯と考える。</li> <li>・少しでも競合や無駄をなくして取り組んでいきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスがなくなるかもしれないということをもっとPRして乗ってもらうように働きかけることが重要ではないか？</li> <li>・今はバスがあるからよいが、なくなってしまったあとに新たに入れることは困難。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報には積極的にPRしていきたい。</li> <li>・バス停付近の紹介などは広報に毎月掲載している。</li> </ul>	

